

## 国語科の学習指導の在り方～その1～



今回の学習指導要領では、領域が「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、「言語事項」の3領域1事項になり、言語活動との結び付きがより明確になっています。小学校の場合、「日常生活に必要な」ということが重視されていることを踏まえながら、国語科の学習指導の中で子どもたちに実際に話したり、聞いたり、書いたり、読んだりする言語活動を十分に行わせたいものです。その中で言語活動の楽しさを十分に味わわせながら、確かな力を身に付けさせる工夫をしたいものです。

### \*工夫1\*

例えば、「読むこと」の能力を育てることを目指した学習などの場合は、実際に教材を読む時間や場面を十分設定する工夫が必要です。読み取ったことについて発表したり話し合ったりする際には、考えの根拠になる文章を実際に読み合うことなどをこれまで以上に確実に行いましょう。

### \*工夫2\*

調べたことをみんなの前で発表する学習は、「話すこと」の学習ですから、子どもたちが発表原稿を「読むこと」の学習で終わってしまわないようにすることが大切です。指導者が「話すこと」と「読むこと」の違いをはっきり認識し、子どもたちに理解させて、十分に「話すこと」の言語活動をさせましょう。